

## 第3回クリーンセンター連絡協議会 要点録

【日 時】平成31年3月28日(木) 午後7時～午後7時30分

【場 所】東部会館 視聴覚室

【出席者】

会 長：新石自治会

委 員：新石自治会 2名 新井自治会 2名 落川上自治会 2名

事務局：日野市 5名（環境共生部長、クリーンセンター長、ごみゼロ推進課長、  
施設課長、ごみゼロ推進課課長補佐）

国分寺市 1名（建設環境部長）

小金井市 1名（環境部長）

浅川清流環境組合 4名（事務局長、事業課長、総務課長、総務係長）

【傍聴者】6名

【配付資料】

- ・次第 「第3回クリーンセンター連絡協議会 次第」
- ・資料1 「プラスチック類資源化施設建設工事について」
- ・資料2 「建設工事状況（平成31年3月20日現在）」
- ・資料3 「浅川清流環境組合 環境定点測定（平成30年度 冬季測定）」

【次 第】

### 1 開会

<事務局から連絡>

国分寺市の事務局職員に変更があったため紹介した。

（変更前）：環境担当部長

（変更後）：建設環境部長

### 2 議事

#### (1) 日野市

プラスチック類資源化施設工事状況

<説明内容>

日野市から資料1に基づき説明を行った。

- ・基礎工事は完了、4月上旬より棟上を行う予定。
- ・プラスチック類資源化施設工事と同時に行っていた袋倉庫棟については2月8日に完成。竣工検査も済み、現在はゴミ袋の保管場所として使用している。
- ・今後のスケジュールについて、2019年度の試運転に向けて工事を進めている。
- ・工事全体の進捗率は現在21パーセント。
- ・工事は順調に進んでいる。

<質疑・応答>

なし

(2) 浅川清流環境組合

①新可燃ごみ処理施設工事状況

②環境定点測定（平成30年度 冬季）について

<説明内容>

①新可燃ごみ処理施設工事状況

浅川清流環境組合から資料2に基づき説明を行った。

- ・ 前回示した平成30年12月の建設工事の状況と平成31年3月20日現在のものを対比。
- ・ 写真Aについて、煙突工事は、約77mの高さまで進んだ。
- ・ 写真Bについて、1階が駐車場、3階がプラットフォーム、5階が事務所、議場、6階が見学用の会議室が設置される予定。
- ・ 写真Cについて、右側のやぐら部分は焼却炉本体で、現在組み立て作業中。写真Dを見ると分かりやすい。
- ・ 写真Eは浅川側上空からの全体の状況。
- ・ 建築工事について、煙突はまもなくコンクリート工事が終了する。
- ・ 建屋の建築工事は夏の終わり頃には最上階まで進む。
- ・ プラント工事はボイラー本体の組み立てが始まった。約3ヶ月半程度溶接で組み立てていく。
- ・ その他、設備機器の据付も進行中。
- ・ 工事の進捗率は2月末時点で約35%程度。
- ・ 工事は順調に進んでいる。

②環境定点測定について

浅川清流環境組合から資料3に基づき説明を行った。

- ・ 環境定点測定とは、環境影響評価とは別に可燃ごみ処理施設の運転時及び停止時に測定を行い、それぞれの結果の差を確認・比較することを目的に実施するもので、大気質、悪臭、土壌（ダイオキシン類）を測定している。
- ・ 平成29年度より開始し、夏と冬の年2回の測定を実施している。資料3はその結果を取りまとめたもの。
- ・ 結果については、全ての測定項目で法令等の基準値を下回っていた。東京都の設置している大気汚染常時監視測定局（多摩市愛宕測定局）と比較しても数値は同程度。以上より、周辺へは著しい影響を及ぼしていないと考えられる。

<質疑・応答>

(委員)：環境定点測定について、百草駅前郵便局近辺を定点観測地点に追加してほしい。環境影響評価の資料を見ると一定の気象条件の中では、百草駅前郵便局付近の項目の濃度が高くなっている。影響がどの程度あるのか知りたい。

(事務局)：この場で追加するか否かの判断はできないので、一旦持ち帰り、検討したい。検討結果については、今後の当協議会で回答させていただく。

(委員)：敷地内の新設鉄塔について、低いものしか設置されておらず、既存の電線も半分しか移設されていないが、その理由は何かあるのか。

(事務局)：今回の鉄塔の新設及び既存電線の移設は、新可燃ごみ処理施設の稼働にあたり高圧受電が必要であるため設置したものである。既存電線の移設については、費用及び工事への影響の観点から最小限の移動とした。

### 3 その他

<事務局より連絡>

- ・ 次回の会議の予定は6月22日(土)午後4時から、会場は日野市東部会館会議室1・2を予定している。
- ・ 本連絡協議会の委員について、会則では任期の定めはなく、自治会から委員を2名選出していただいているが、新年度を迎えて自治会役員の改選等により本協議会委員に変更が生じた場合、届出を提出していただきたい。

<質疑・応答>

(委員)：30年後の新可燃ごみ処理施設(以下「新施設」)の設置場所の検討は、新施設稼働後に行うと聞いているが、それまでは検討しないとの理解でよいか。

(事務局)：覚書では稼働後適切な時期に検討するとなっている。覚書に基づき稼働後に行うということで3市とも共通認識でいる。

(委員)：次期設置場所の検討状況については、次回以降の本協議会で議論していきたいと考えるので対応をお願いしたい。本日の段階では、次期施設設置場所の検討に係る資料等の提供はないとの認識でよいか。

(事務局)：そのとおり。

(委員)：自治会内で30年後の施設設置場所に係る具体的な計画等が提示されないのは不安であるとの意見が出ている。ぜひ、積極的に取り組んでほしい。

- (委員)：参考までに発言するが、新石自治会でも日野市との交渉にあたり、30年後の次期施設設置場所について再三質問している。一部事務組合が存続するうちは約束事項は守られるが、仮に国分寺市や小金井市が30年後に脱退した場合、一部事務組合が存続しなくなってしまう。そうすると約束が全部反故になってしまう。新石自治会では、30年後もし体制が組めなかった場合でも、石田一丁目にはつくらない、日野市の中でも石田一丁目以外に建てるという約束を日野市長としている。その約束をより明確にするため、石碑やたて看板の設置などを検討している。
- (委員)：各自治会の会長が集まっているので、この場を借りて話した。シナリオを含めて早いうちに提示してもらいたい。
- (委員)：建設の計画策定に10年くらいかかったりするので、場合によっては20年後になるかもしれない。
- (委員)：せめて、いつまでに絶対決めるなど、マイルストーンだけでも示してもらいたい。

#### 4 閉会

以上